

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（200）
2. 日時：令和3年8月25日 13時30分～17時45分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全規制調整官※、天野安全管理調査官※、忠内安全管理調査官、
江寿企画調査官、藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
皆川主任安全審査官※、宮本主任安全審査官※、伊藤安全審査官、
杉原技術参与、谷口技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 部長、他4名

原子力本部 土木建築部 副部長、他11名※

5. 要旨

（1）東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「耐津波設計」及び「地盤支持性能」について提出資料に基づき、説明があった。

（2）これに対し、原子力規制庁は今後、説明内容について引き続き確認することとした。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面を実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（防潮堤）（O2-他-F-01-0039_改3）
- （2）女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（逆流防止設備）（O2-他-F-01-0075_改1）
- （3）VI-2-10-2-2 防潮堤の耐震性についての計算書（O2-工-B-19-0024_改1）
- （4）VI-3-別添3-2-1 防潮堤の強度計算書（O2-工-B-20-0003_改1）

- (5) 補足-140-1 津波への配慮に関する説明書の補足説明資料(02-補-E-01-0140-1__改23)
- (6) VI-2-12-1 水平2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果(02-工-B-19-0124__改2)
- (7) 補足-600-5 水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について(02-補-E-19-0600-5__改3)
- (8) 漂流物防護工の設計について(02-他-F-24-0017__改0)
- (9) 漂流物防護工の施工について(02-他-F-24-0018__改0)
- (10) 女川原子力発電所第2号機 地下水位の設定, 耐震評価における断面選定(指摘事項に対する回答)及び後施工せん断補強筋(CCb工法)の運用性について(02-他-F-24-0015__改1)

以上